

移動通信分野における 接続料等と利用者料金との関係の検証に関するヒアリング資料

KDDI株式会社

2025/12/19

MVNOからの検証要望対象について

➤ MVNOから検証要望を受けた弊社料金プランは以下のとおり。

		MVNO委員会	IIJ
要望対象	povo2.0	60GBプラン (365日間) 360GBプラン (365日間)	360GBプラン (365日間)
	UQ mobile	トクトクプラン2 ~5GB トクトクプラン2 30GB	トクトクプラン2 30GB
補足		MVNO委員会資料スライド5に記載のプランが検証要望の対象と認識。	

UQ mobile トクトクプラン2の検証要否

- UQ mobile トクトクプラン2 (～5GB/月・30GB/月) は両プランともMVNO各社のプラン料金を上回っており検証は不要と考える。
- NTNサービスの割引は、プランへの割引ではなく、当該NTNサービス単体に対する割引であるため考慮は不要。
- 近接性の比較方法（家族割引等の適用）はMNO・MVNO間で平仄を合わせて検証を行うべき。

UQ mobile トクトクプラン2 (5GB)

UQ mobile トクトクプラン2 (30GB)

【通話定額なし】	UQ	IJmio	イオンモバイル
データ容量	～5GB	5GB	5GB
基本料金(割引前)	2,948円	950円	1,298円
特定決済割引	▲220円	-	-
セット割引(FTTH等)	▲1,100円	-	-
家族割引	-	▲100円	-
価格(計)	1,628円	850円	1,298円
価格比 (NTN除)	-	+92%	+25%

【通話定額なし】	UQ	考え方1 IJmio	考え方2	mineo	イオンモバイル
データ容量	30GB	30GB換算	30GB換算	30GB	30GB
基本料金(割引前)	4,048円	2,057円	2,200円	2,178円	2,508円
特定決済割引	▲220円	-	-	-	-
セット割引(FTTH等)	▲1,100円	-	-	-	-
家族割引	-	▲100円	▲100円	-	-
価格(計)	2,728円	1,957円	2,100円	2,178円	2,508円
価格比 (NTN除)	-	+39%	+30%	+25%	+9%

※UQ mobile トクトクプラン2ではセット割引と家族割引は重複不可のため、本件が価格近接性の確認であるという点に鑑み、より割引額の大きいセット割引を適用

※UQ mobile トクトクプラン2は他MVNOプランと同じく通話定額を含まないプランの為、基本料金をもとに比較

※IJmio30GBプラン・考え方2は、25GBプラン(2,000円)と35GBプラン(2,400円)より算定

※低容量帯の比較において、mineoのプランはMVNO委員会資料提示時からプランの値下げが行われ現に5GBプランの提供がないこと、特に検証の要望がないことを受け記載していない

※いずれのプランも音声機能付き、税込表記

povo2.0の検証要否

- **povo2.0 (60GB/365日・360GB/365日)** は、月毎に利用容量が設定されているMVNO等のプランと比べ、**料金プラン設計が大きく異なっていることから競合プランとは言えず、検証は不要と考える。**

povo2.0の料金プラン設計について

- povo2.0の料金はお客さまがご自身のライフスタイルに合わせて「**トッピング**」として様々な利用期間・料金体系の**データ通信容量や音声通話メニューを自由な選択で組み合わせる**ことによって設定される。
- 検証要望のある「60GB/365日・360GB/365日プラン」は、それぞれ365日という有効期限内に、購入したデータ通信容量をご利用いただくことを前提としたプランであり、必ずしも12か月間平均的にデータを利用されるわけではない。
- povo2.0は、必要なコストはお客さまが適宜購入されるトッピングの売上で賄うことを前提としており、180日間有料トッピングのご購入がない場合は利用停止・契約解除になるため、お客さまに0円をご利用いただくことを意図したプランではない。

その他ご指摘事項について（1/2）

	質問内容	弊社回答
MVNO 委員会 意見	<ul style="list-style-type: none"> MNOに対し、廉価プラン等が内部補助によって不当に維持されていないことの会計的な説明を求めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> モバイルスタックテストの目的は、移動通信分野における接続料等と利用者料金との関係の検証に関する指針に示されているとおり、「MNOとMVNO間のイコールフットイングを確保する観点から、第二種指定電気通信設備との接続に関する接続料及び当該設備を用いる卸電気通信役務の料金と利用者料金との関係の妥当性を検証する」ものであり、当該指針に沿って本スタックテストが実施されていると理解しております。
	<ul style="list-style-type: none"> 5GSAの機能開放においてはMVNOでも通信品質を確保することが重要であり、従来のピーク時基準の帯域課金では、ピークと非ピークの差拡大による費用対効果の低下が懸念される。帯域設定の柔軟化を事業者協議で進めるべきだと整理されているが、MNOが従量課金の選択肢を用意するなど議論を深める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続料の算定等に関する研究会第9次報告書の考え方に示されたとおり、「帯域設定変更の柔軟化の要望については、まずは事業者間で協議を進めていくことが適当」と認識しております。
	<ul style="list-style-type: none"> データ接続料は今後上昇・横ばいに転じる見通しが出されており、過去に検証済みのプランについても、データ接続料の単価が上昇した場合には再検証をいただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続料の算定等に関する研究会第9次報告書の考え方に示されたとおり、「どのような状況変化があった場合に再度の検証を行うことが適当かについては、特に要件③の検証の合理性が認められるかどうかの観点から、本研究会において、都度モバイルスタックテスト指針に示された要件に沿った判断が適当」と認識しております。

その他ご指摘事項について（2/2）

	質問内容	弊社回答
III 意見	<p>①通信品質の差異とプラン価格の近接性について</p> <ul style="list-style-type: none"> MVNOと価格近接するMNOサブブランドは、MVNOと遜色のない料金水準でありながら、通信品質はMNOメインブランド並みとなっています。 仮にMNOサブブランドと同等の通信品質を確保したうえでプラン設計をしたとしても、現状の接続料水準ではMNOサブブランドと同等の料金水準でサービスを提供することは到底不可能です。 そのような状況で、MNOが自らMVNOに対抗するプラン価格を設定することは、MVNOにとって大きな競争脅威と受け止めております。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続料の算定等に関する研究会第8次報告書の考え方に示されたとおり、MNO・MVNO間の通信品質の同等性については、「検証対象サービス等の選定後に実際にMNOにおいて検証を行う際には、MNOの通信品質を前提として、MNOの接続料等と利用者料金の関係について確認を行うため、仮にMNO・MVNOに通信品質の差異がある場合でも、検証結果には影響しない」と理解しております。
	<p>③検証時の「営業費相当額」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 営業費相当額（第二種指定電気通信設備接続会計規則に基づく移動電気通信役務収支表の営業収益に対する営業費）では、人件費や広告宣伝費等の費用計上の按分や割合が非開示であるため、検証時には営業費相当額が直近1年間で大きな変化がなかったか等を注視いただき、大きな変化が認められる場合は、直近の営業費相当額での検証の必要性についてご議論いただければと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続料の算定等に関する研究会第9次報告書の考え方に示されたとおり、「接続会計を基に営業収益の割合の直近5年間の平均値により営業費相当額を算出する現在の方法は、一定の合理性があると考えられることから、引き続き現在の方法を維持することとし、今後、MNO各社の営業費比率が前年度と比べて著しく上昇しているような場合には、必要に応じて改めて検討することが適当である」とされ、本スタックテストは上記考え方に基づき実施されるものと考えております。

「つなぐチカラ」を進化させ、
誰もが思いを実現できる社会をつくる。

KDDI VISION 2030

